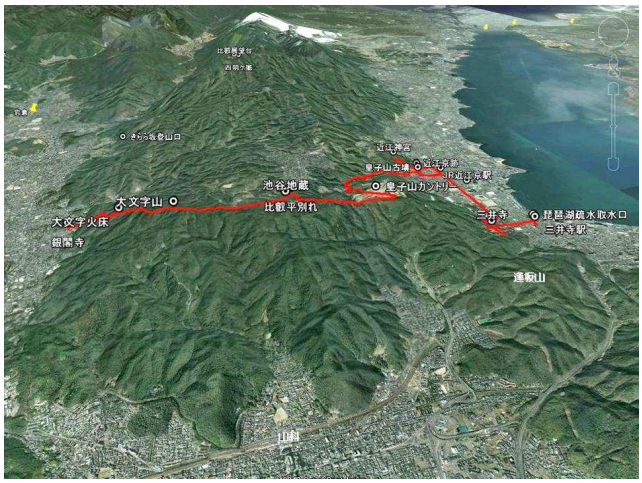
屋久島縄文杉　トレーニングハイク(最終回)

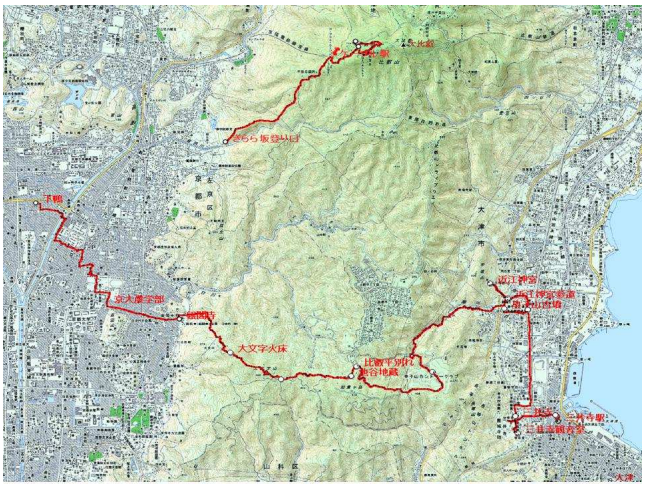
下鴨→銀閣寺から大文字山越→大津三井寺へ

長時間の下りロード　2013.4.26.

4.13.-4.16.まで　屋久島合宿に参加し、縄文杉まで行ってきました。　その最終回に予定していた「屋久島行トレーニングハイク　大文字山越のハイク」を家内が体調を崩したため、パスして屋久島へ出かけました。
屋久島から帰って、「気になるので、やっぱり大文字越して　トレーニングハイクの終了にしよう」と晴天の4.26朝　下鴨から大津へ大文字山越のハイクに出かけました。
大津への大文字山越は学生時代以来で、見る風景も新鮮。　新緑の中に咲くミツバツツジに日本しゃくなげなど思わぬ春景色にも出会え、ラッキーでした。
また、日頃見慣れた三角の秀麗な比叡山がどっしりと構えた台形の姿だったのにもびっくり。　おもわぬ比叡の姿にも出会えました。

大文字山越でみえる比叡山　左:四明岳　右:大比叡　2013.4.26.
正面　丘の上の住宅地が比叡平





1.　下鴨から銀閣寺の大文字山登山口へ

早朝の高野川　比叡山がもやっている　2013.4.26.

さつきが咲き始めた高野川土手　2013.4.26.

久しぶりに京大北部構内を抜けて北白川・銀閣寺へ　2013.4.26.

北白川街道の入り口　久しぶりに眺めるお地蔵さんと大文字山　2013.4.26.

北白川街道の入口のお地蔵さん　変わらぬお姿で　2013.4.26.

銀閣寺道の交差点で　2013.4.26.

銀閣寺前　まだ朝早いので閉門されている

銀閣寺への坂道　2013.4.26.

銀閣寺前から吉田山を振り返る　2013.4.26.

2. 銀閣寺の登山口から、火床を経て大文字山山頂へ

石段が出てくるとすぐ上が大文字の火床　　2013.4.26.

大文字山　火床からの京都の街　展望　　2013.4.26.

火床から大文字山山頂へまっすぐ登ってゆく尾根道　2013.4.26.

火床から大文字山の頂上へ出て、そこから池谷地蔵へ下ってゆくコース　ポピュラーなコースで京都市民に親しまれた日曜ハイクのコースなのですが、銀閣寺の上り口からも含め、以前あった案内板などがすべて取り除かれ、まったくコース案内がないのに気がつく。　道がしっかりしているので、迷うことはないが、この大文字山地域はすべて個人所有地のため、取り除かれたと山で出会った日曜登山の人に教えてもらった。　でも　道はよく整備されている。

新緑の中　ミツバツツジが満開の登山道がはなやいでみえる

466m 大文字山頂上　2013.4.26.

以前は雑木林の真っ只中で、まったく展望が利かない頂上でしたが、南側の雑木林が取り払われ、正面に花山天文台そして蹴上から山科が眺められる。こんなになってるんだとびっくりでした。

3. 大文字山から池谷地蔵尊を経て大津京へ下る

大文字山を下って、如意ヶ岳の北斜面に出るとよく手入れされた杉林が広がっていました

杉林を抜けると　北側谷の向こうにどっしりとした比叡が見える　2013.4.26.

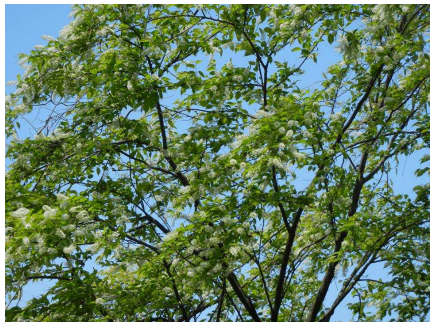
四明岳と大比叡の二つの峰が並ぶ姿にびっくり　これが比叡か…と

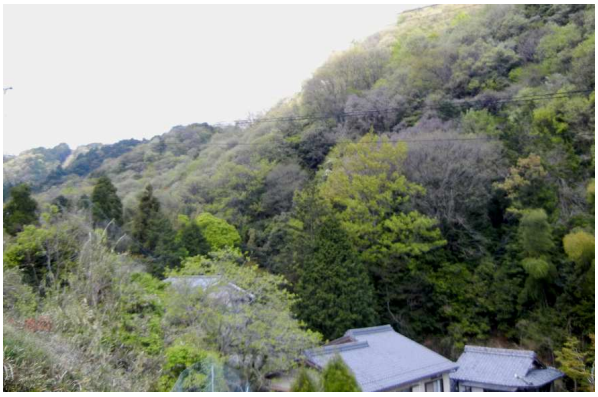
屋久杉を見て帰ったところで、杉の年輪が気になる　2013.4.26.

屋久杉の緻密な年輪(<0.5mm)と比べるとはるかに成長が早い

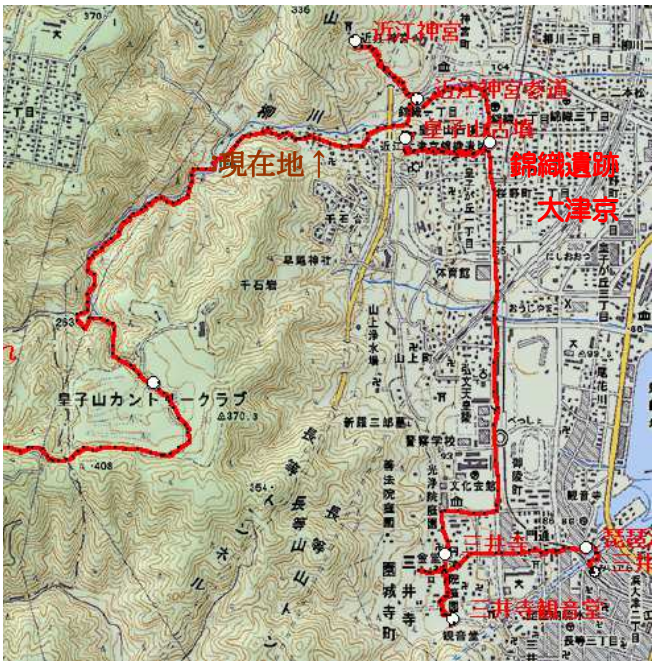
杉林に沿う林道を抜けると池谷地蔵尊の前　いきなりシャクナゲの花が飛び込んでくる

池谷地蔵尊は花の寺　2013.4.26.
数多くの山野草や薬草を育てておられた。
ここは薬草園がある深山なんだと





谷間を抜けると司会がぱっと開け、
皇子ヶ丘の市街地表示に
このまま川に沿って下れば
近江京　近江神宮前へ出る



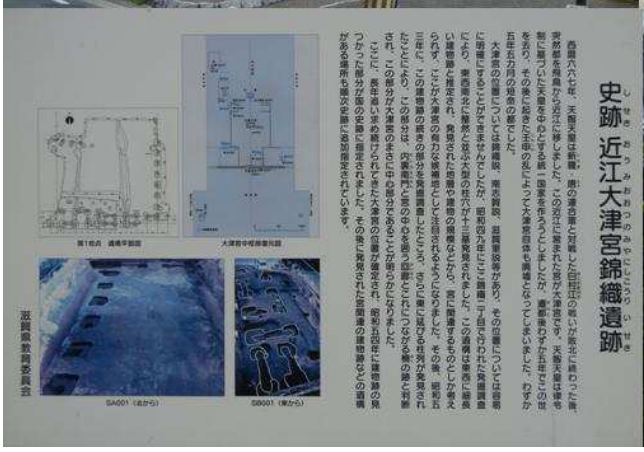
4. 大津京(近江京)界隈の近江京関連遺跡をめぐって三井寺へ

《 近 江 神 宮 》

柳川沿いを西大津バイパスをくぐると近江神宮の前に出る。
ここは祭る天智天皇の大津京(近江京)

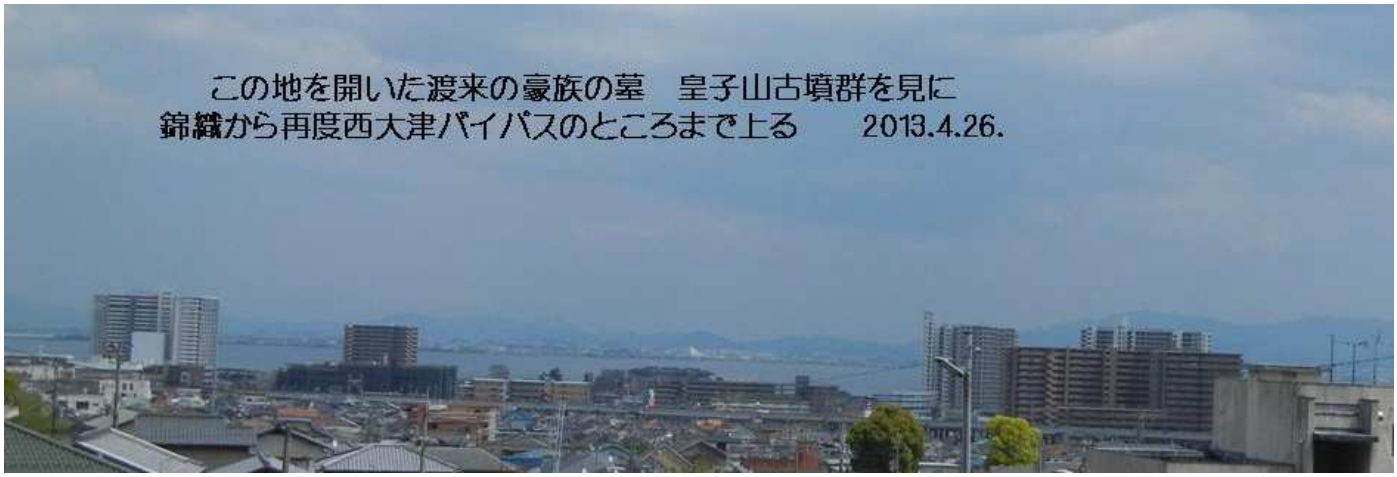
近江神宮　2013.4.26.

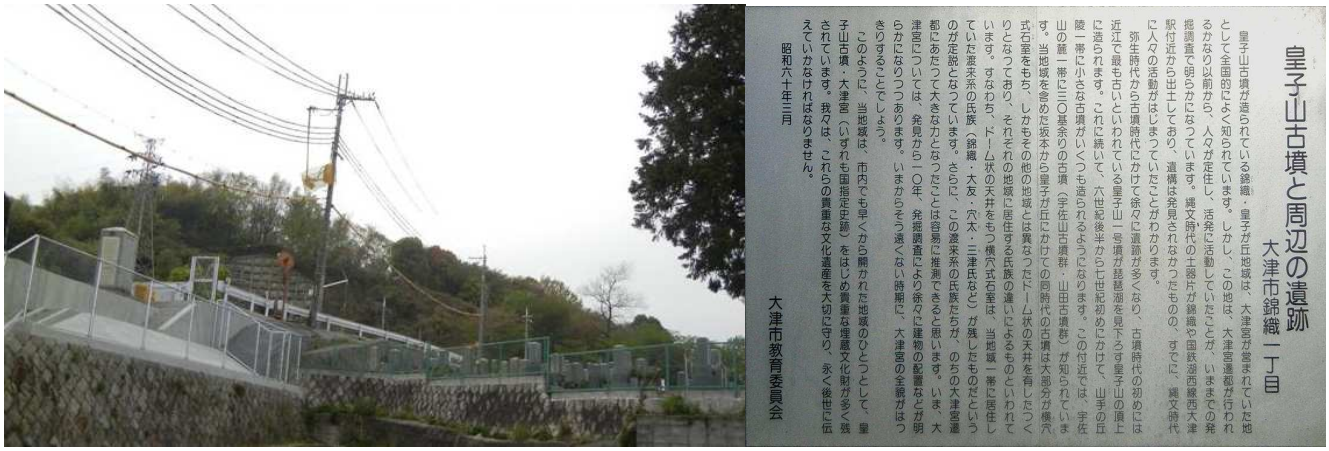
《　近江大津宮　錦織遺跡　》



近江大津宮錦織遺跡　第一地点

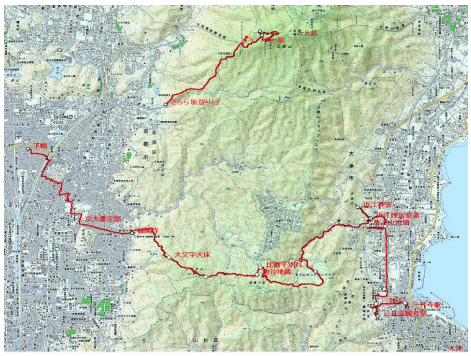
《　皇子山古墳　》





皇子山古墳　1号前方後円墳　近江京が開かれる前　近江を開いた渡来の豪族の墓と見られている

《 三 井 寺 》

琵琶湖疎水　2013.4.26.

三井寺駅の東すぐの琵琶湖から取水された水が京都に流れこんでゆく。 京都の生命線。これで 京都の街から大文字山越で琵琶湖までのハイクが無事完了